

観光創造専攻

平成22年度
後期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 7 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 8 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 9 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～2 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語 (横書き) で解答しなさい。

なお、適切な位置で改行して段落に分けること。また字数は改行による空白も含めて計数する。

【問題 1】

ICOMOS (国際記念物遺跡会議) は「国際文化観光憲章 (International Cultural Tourism Charter)」(1999 年承認) の中で、ホストコミュニティ及びビジターが、観光を通して、文化資源や自然資源の価値に対する「物理的・知識・感情的アクセス」を確保することは、当該資源の保護に極めて重要な役割を果たすとしている。なぜ対象へのアクセス確保が資源の保護に重要なのか、またなぜ観光がそのために有効な手段となり得るのか、具体的な観光資源の事例を挙げつつ、わかりやすく解説しなさい。

【問題 2】

現在、少子高齢化や若年層の大都市部への流出により、大都市圏以外の多くの地域社会では、地域社会の活力低下が深刻な問題となっている。そうした中、交流人口の拡大という点から観光振興に注目が集まっているが、必ずしもうまくいっている事例ばかりではない。では、地方中小都市や農山漁村が観光振興を通して交流人口の拡大を目指す際、地域社会は観光の持つどのようなメリットならびにデメリットに注意する必要があるのか、具体的な事例をあげつつ論じなさい。

以上